



地域づくりはみんなが主役

安曇野市区長会だより

安曇野市区長会
第5号 R4.1 発行

【令和3年度 安曇野市区長会長あいさつ】 **市区長会は、設立15周年を迎えました**



会長 佐々木一夫

平成19年に誕生した安曇野市区長会は、本年15周年を迎えます。先輩区長が市当局と協力し実現させた安心・安全なまちづくりのための施策は多岐にわたり、地域コミュニティの醸成に大きな役割を果たしてきました。私たちはこの流れを加速させるために新たな課題に挑戦します。市区長会の主体性を更に高め、区長がより深く地域住民に寄り添い、コミュニティの充実に資する機会を増やせるよう、事務局機能を強化・充実する仕組みづくりに着手します。今後とも市区長会にご理解とご支援をお願い申し上げます。

安曇野市区長会 15年間の主な取り組み

- ◆平成19年度(2007) 4月1日 安曇野市区長会発足
- ◆平成22年度(2010) 区のPRを目的に、あづみのシティマップを作成し全戸配布
- ◆平成23年度(2011) 東日本大震災を受け、各区の自主防災体制の検討開始
- ◆平成26年度(2014) 区への理解促進、加入促進、地域力の向上を目指し「区マニュアル」作成
- ◆平成28年度(2016) 設立10周年記念式典を開催
市民一人ひとりが参画しより良い地域づくりを進めるため
「コミュニティ・マニュアル」を作成
- ◆平成29年度(2017) 部制度導入スタート
- ◆平成30年度(2018) 区加入への手順などをまとめた「区加入促進マニュアル」を作成
- ◆令和元年度(2019) 転入者に各区を紹介した区紹介カード配付開始
市区長会キャラクター誕生



地域において「支え合い、助け合い」を土台に安全・安心な地域を目指し、活動しています

◆◆◆◆◆市区長会設立15周年記念事業を開催(令和3年12月11日)◆◆◆◆◆



講演する磯野さん

磯野真穂さんが記念講演

「コロナ下の交流、区長のヨコの連帯で」

With コロナ時代における今後の区の活動を考えるきっかけとするため、人類学者で安曇野市穂高出身の磯野真穂さんが「文化人類学から考えるコロナ下の交流」と題して講演をしました。コロナ下における交流について、「区長同士のヨコの連帯をいかに作れるか」が重要であると指摘しました。

また、「異邦人」に代表される「異」は自身の外部、「違和感」のような「違」は自身の内部に存在すると説明。「新型コロナを異物として完全に排除し続けるのではなく、違和感として地域の中にとどめる智恵を考えることが共生ではないか」と提言しました。

となり近所との日頃のあいさつで

災害に強い、安全・安心な地域へ

いざという時は、家族や「となり近所」など、近くにいる人が頼りになることは阪神・淡路大震災をはじめとした、過去の災害経験から明らかになっています。

一方で、近年は地域における日頃のお付き合いが減ってきていると感じている方もいらっしゃるかと思います。

近所に誰が住んでいるのか分からないような状況では、「支え合い」といっても現実的ではありません。

また、普段あまり話したことがない人、顔を知らない人には、自分から声をかけたり、手を貸したりすることを躊躇してしまう場合も多いのではないのでしょうか。



防災システム研究所・所長の山村武彦氏は、以下のように話されています。

「小さなコミュニティ単位で、お互いに助け合えるご近所関係づくり、それはベタベタしたお付き合いではなく、ほどほどでよいのです。人は一人では生きていけません。自分のできることは、可能なかぎり自分で対処したうえで、人に助けてもらうことは助けてもらう。お互いさま、程よい距離感で隣人に関心を持ち、困っていたり、様子が違うと感じたら声をかける。それが災害に強い安全・安心なまちづくりにつながります。」(平成27年度 市区長会研修会より)



さて、令和3年8月の大雨では、明科地域に避難情報が発令されました。

この時、指定緊急避難場所（区の公民館等）や市の開設する避難所への避難、安全な場所にいる親戚や知人宅、ホテルや旅館に避難された方もいらっしゃいましたが、その中で「となり近所」に声をかけて避難した人はどれくらいいたのでしょうか・・・。

いつ起こるかわからない災害に対して、今から日常的に、顔が「わかる・知っている・たすけ合える」関係を築いていけるかが、地域の「ご近所力・共助力・地域防災力」向上につながります。

最後に、「負担にならないご近所力回復・強化のポイント」を3つ紹介します。

- 1 ご近所の方とお会いしたら「あいさつ」をする
- 2 ほど良い距離感を保ちながら、ご近所のことを知る（住んでいる方や危険箇所など）
- 3 自分の「都合」を調整して、地域のイベントに参加する（夏祭りや防災訓練など）



一人ひとりが3つのポイントを心がけることで、さらに暮らしやすい地域になりそうですね！

【発行】安曇野市区長会

【事務局】

市民生活部地域づくり課

電話：71-2494（直通）